



労働者の健康の状況 (令和4年版)



長野労働局労働基準部

健康安全課

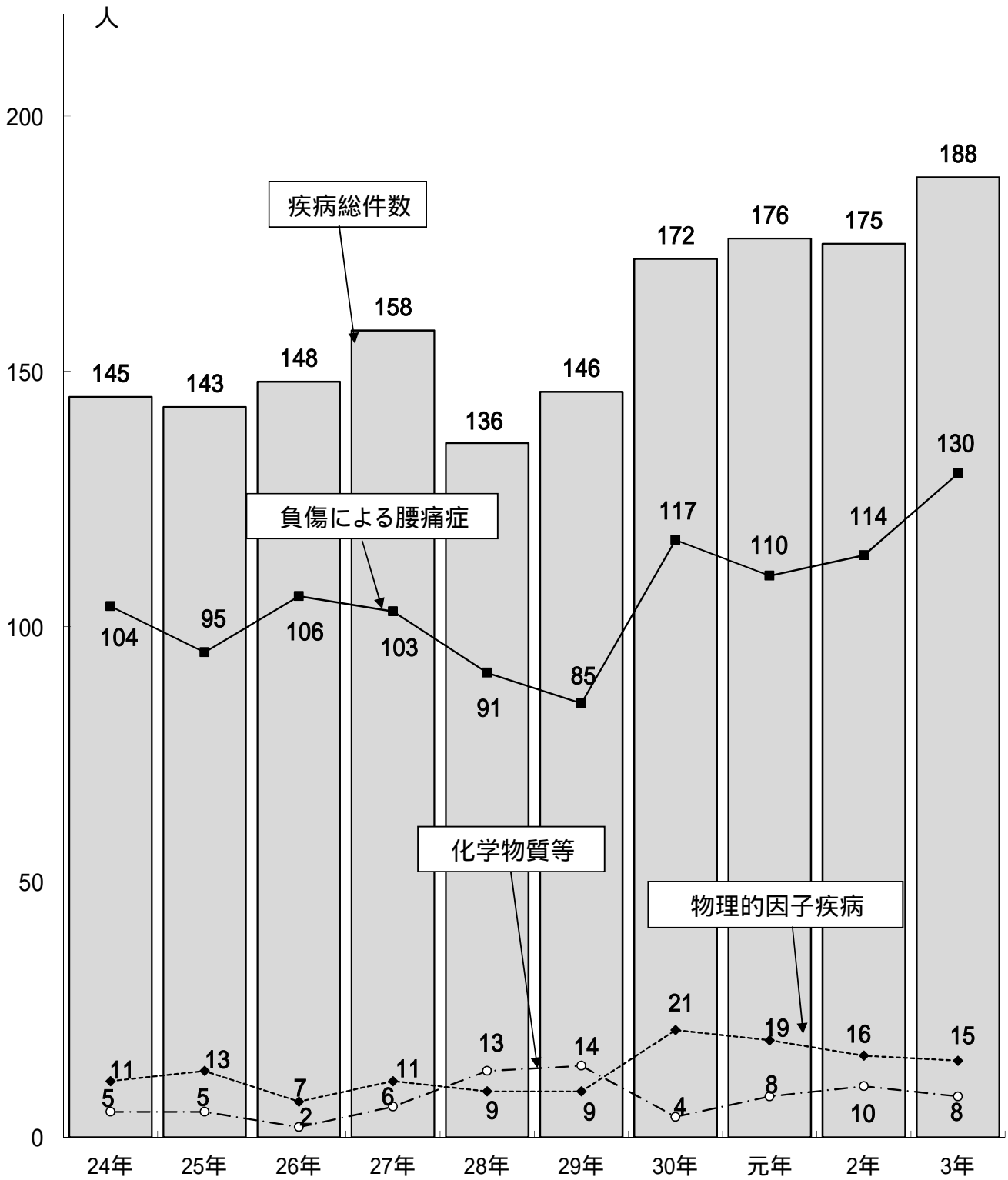
目 次

第1図	業務上疾病の推移（過去10年間）	1
第1表	産業別・疾病分類別業務上疾病発生状況の推移	2
第2表	業務上疾病発生状況（令和3年）	3
第2図	健康診断結果（有所見率）の推移	4
第3表	一般定期健康診断実施結果（令和2年・令和3年）	5
第4表 - 1	令和3年一般定期健康診断項目別有所見率（その1）	6
第4表 - 2	令和3年一般定期健康診断項目別有所見率（その2）	7
第5表	特殊健康診断実施状況の推移（過去30年間）	8
第6表 - 1	特殊健康診断実施結果（令和3年）（その1）	9
第6表 - 2	特殊健康診断実施結果（令和3年）（その2）	10
第7表	健康管理手帳（労働安全衛生法関係）新規交付状況	10
第8表	じん肺健康診断実施状況及びじん肺管理区分決定状況の推移	11
第9表	じん肺（要治療）の労災補償状況の推移	12
第10表	振動障害の労災補償状況の推移	12
第11表	最近の自殺者数の推移	13
第12表	脳・心臓疾患の労災補償状況の推移	13
第13表	精神障害の労災補償状況の推移	13
第14表	石綿関連疾患の労災補償状況の推移	13
第15表	令和3年心理的な負担の程度を把握するための検査 （いわゆるストレスチェック）実施状況	14
第16表・第3図	長野県におけるストレスチェック 集団分析実施事業場割合の推移	14
第17表	令和3年工業中毒等特殊疾病事例	15
第18表・第4図	長野県の熱中症による労働災害発生状況	16

第2図及び第3表から第6表までは、事業者から所轄の労働基準監督署に提出された健康診断結果報告書を集計したもの（厚生労働省確定値の内数）。

第1図

業務上疾病の推移(過去10年間)



(注) 資料出所や定義等の注釈は第2表参照。

第1表

産業別・疾病分類別業務上疾病発生状況の推移

年		平成24	25	26	27	28	29	30	令和元	2	3	
総	数	145	143	148	158	136	146	172	176	175	188	
産業別	製造業	39	33	31	47	34	42	45	38	61	48	
	鉱業	1	1	1	1	2			1			
	建設業	17	14	16	13	16	13	9	8	8	18	
	運輸交通業	6	6	9	11	7	11	18	7	17	22	
	その他の産業	82	89	91	86	77	80	100	122	89	100	
疾病分類別	負傷に起因する疾病数 ()内は腰痛で内数		(104)	(95)	(106)	(103)	(91)	(85)	(117)	(110)	(114)	(130)
	物理的因子による疾病数 ()内は熱中症で内数		115	112	126	119	104	111	135	123	128	161
	身体に過度の負担のかかる疾病	重激業務による筋肉等の疾患 (腰痛を除く)	(8)	(9)	(4)	(5)	(7)	(2)	(19)	(12)	(10)	(9)
		振動障害	11	13	7	11	9	9	21	19	16	15
		頸肩腕症候群							1			
		その他	4	1	5	1	1	3	4	5	4	1
		計	1	1		3			1	3	1	
	酸素欠乏症	5	2	5	4	1	3	6	8	5	2	
	化学物質等による疾病	化学物質	特定化学物質	3	1		2	1	3			1
			有機溶剤	1	2	1		2	2	1		1
上記以外				2		1	6	6	3	8	7	5
硫化水素中毒								1			1	
一酸化炭素中毒		1		1	3	4	2				2	
その他										1		
計		5	5	2	6	13	14	4	8	10	8	
じん肺症及びじん肺合併症	7	4	3	4	5	4	4	2	1	1		
病原体による疾病	1	7	2	13	1	2	1	9	12	1		
その他	1		3	1	3	3	1	7	3			

(注) 資料出所や定義等の注釈は第2表参照。

第2表

業務上疾病発生状況 (令和3年)

業種	疾病分類	負傷に起因する疾病	物理的因子による疾病					作業態様に起因する疾病					酸素欠乏症	化学物質等による疾病(硫化水素・一酸化炭素中毒含む)	じん肺症及びじん肺合併症	病原体による疾病	がん			その他の疾病	合計	構成比	令和2年	令和元年	平成30年	平成29年
			有害光線による疾病	電離放射線による疾病	異常気圧下における疾病	異常温度条件による疾病 (左記のうち熱中症) (内数)	騒音による耳の疾病	その他	疾患(腰痛を除く)	振動障害	頸肩腕症候群	その他					電離放射線	化学物質	その他							
製造業	食品製造業	11 (9)			1	1													12	6.4%	29	14	12	14		
	繊維・繊維製品製造業																									
	木材・木製品家具・装備品製造業	1 (1)																	1	0.5%	1		1			
	パルプ・紙加工品印刷・製本業	1 (1)																	1	0.5%	1	1	1	2		
	化学工業	2 (2)																	2	1.1%	1	1	2	1		
	窯業土石製品製造業	3 (2)																	3	1.6%	1	1	2	1		
	鉄鋼・非鉄金属製造業				1									1					2	1.1%	2	3	3			
	金属製品製造業	6 (6)			1														7	3.7%	7	5	5	6		
	一般電気・輸送用機械工業	11 (8)			2						1			3	1				18	9.6%	16	12	15	14		
	電気・ガス・水道業	1 (1)																	1	0.5%					1	
その他の製造業	1 (1)																	1	0.5%	3	1	4	3			
小計	37 (31)			5	1					1			4	1				48	25.5%	61	38	45	42			
鉱業																									1	
建設業	13 (4)			1	1	1							3					18	9.6%	8	8	9	13			
運輸交通業	20 (18)			2	2													22	11.7%	17	7	18	11			
うち道路貨物運送業	16 (15)			2	2													18	9.6%	13	6	12	8			
貨物取扱業																									1	
農林水産業	2												1					3	1.6%	2	5	4	1			
商業・金融・広告業	33 (28)			1	1						1				1			36	19.1%	37	34	29	24			
保健衛生業	38 (35)																	38	20.2%	33	47	43	33			
接客娯楽業	10 (8)			2	1													12	6.4%	10	22	10	15			
清掃・と畜業	7 (5)																	7	3.7%	2	7	4	3			
その他の事業	1 (1)			3	3													4	2.1%	5	6	10	3			
合計	161 (130)			14	9	1				1	1		8	1	1			188	100.0%	188	176	172	146			
令和2年	128 (114)			16	10					4	1		10	1	12			3	175							
令和元年	123 (110)			18	12		1			5	3		8	2	9			7	176							
平成30年	135 (117)			21	19			1		4	1		4	4	1			1	172							
平成29年	111 (85)			9	2					3			14	4	2			3	146							

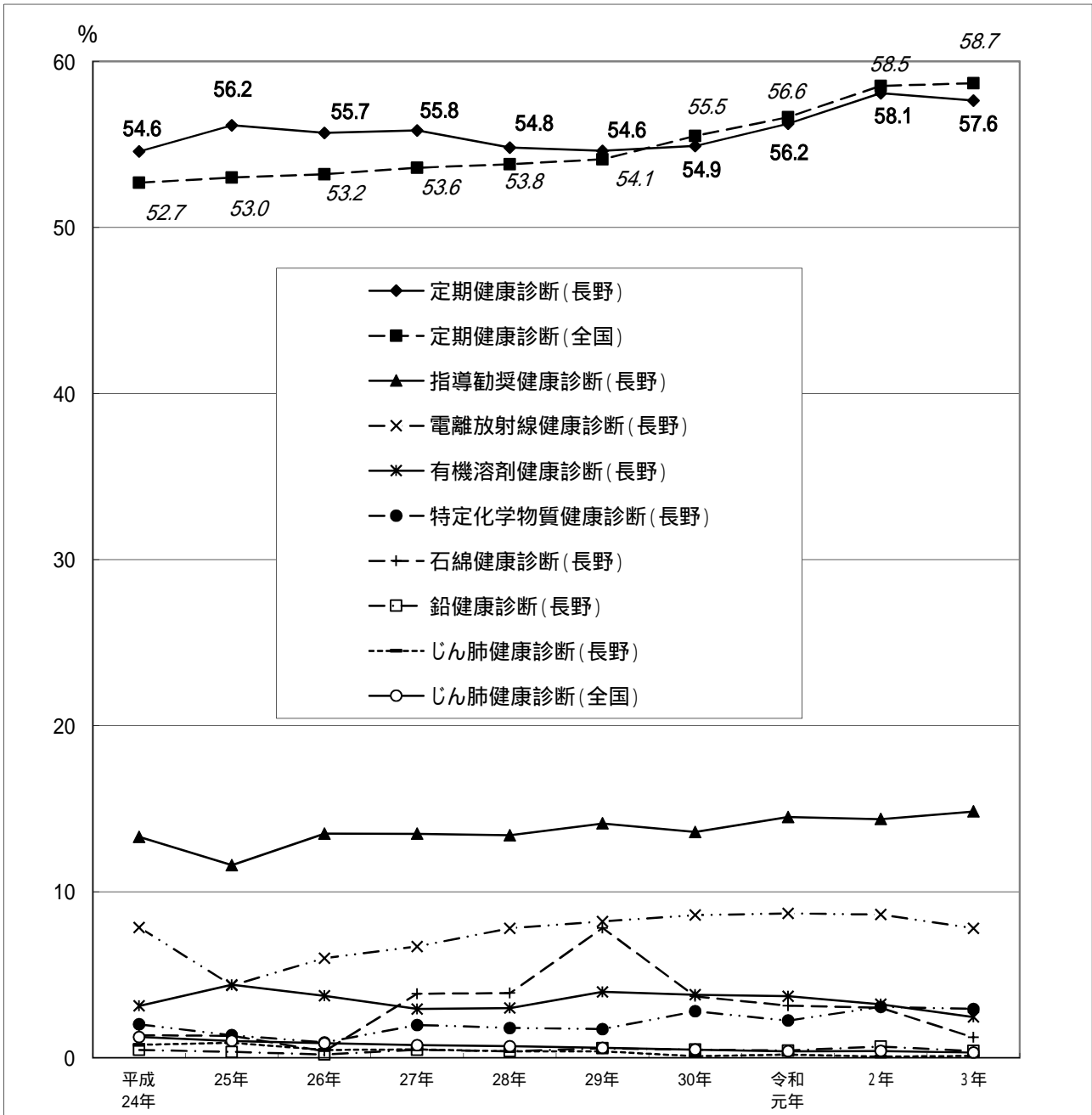
資料:労働者死傷病報告(休業4日以上の死傷、厚生労働省集計確定値の内数(各翌年4月集計))。ただし、「じん肺症及びじん肺合併症」を除く。

(注) 1 疾病分類は労働基準法施行規則第35条によるものを整理したものである。
 2 丸数字は死亡者数で内数である。
 3 「負傷に起因する疾病」欄内のカッコ書き数字は腰痛件数で内数である。

4 「がん」の「化学物質」は労働基準法施行規則別表第1の2第7号に掲げる名称の化学物質である。
 5 「じん肺及びじん肺合併症」は長野労働局長が、じん肺管理区分が管理4、又は、管理2若しくは管理3で合併症あり、と決定した者の数である(決定した年に計上)。
 6 令和2年及び令和3年の被災者数には新型コロナウイルス感染症のり患によるものを除く。

第2図

健康診断結果(有所見率)の推移



健康診断種別	年	平成24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年	2年	3年
定期健康診断(長野)		54.6	56.2	55.7	55.8	54.8	54.6	54.9	56.2	58.1	57.6
定期健康診断(全国)		52.7	53.0	53.2	53.6	53.8	54.1	55.5	56.6	58.5	58.7
有機溶剤健康診断(長野)		3.1	4.4	3.7	2.9	3.0	4.0	3.8	3.7	3.2	2.5
鉛健康診断(長野)		0.5	0.4	0.2	0.5	0.4	0.6	0.5	0.4	0.7	0.4
電離放射線健康診断(長野)		7.9	4.4	6.0	6.7	7.8	8.2	8.6	8.7	8.6	7.8
除染等電離放射線健康診断(長野)			0.0		23.5					0.0	
特定化学物質健康診断(長野)		2.0	1.4	0.9	2.0	1.8	1.7	2.8	2.3	3.1	2.9
石綿健康診断(長野)		1.4	1.3	0.4	3.9	3.9	7.8	3.7	3.1	3.0	1.2
指導勸奨健康診断(長野)		13.3	11.6	13.5	13.5	13.4	14.1	13.6	14.5	14.4	14.8
じん肺健康診断(長野)		0.8	0.9	0.5	0.5	0.4	0.4	0.1	0.2	0.1	0.1
じん肺健康診断(全国)		1.3	1.0	0.9	0.8	0.7	0.6	0.5	0.4	0.4	0.3

注: 除染等電離放射線健康診断結果の折れ線グラフは作成していない。

第3表

一般定期健康診断実施結果(令和2年・令和3年)

業種	区分	実施事業場数		受診者数 (人) (A)		有所見者数 (人) (B)		有所見率 (%) (B/A×100)	
		2年	3年	2年	3年	2年	3年	2年	3年
01 製造業									
	食品製造	128	127	12,880	11,969	6,984	6,807	54.2	56.9
	繊維工業	1	1	128	82	60	50	46.9	61.0
	衣服繊維	5	5	413	422	246	258	59.6	61.1
	木材木製	7	6	454	452	276	289	60.8	63.9
	家具装備	3	3	213	227	152	160	71.4	70.5
	パルプ等	10	8	918	733	526	420	57.3	57.3
	印刷製本	21	19	1,425	1,266	910	765	63.9	60.4
	化学工業	75	68	5,278	4,639	2,978	2,579	56.4	55.6
	窯業土石	15	17	1,542	1,513	1,021	956	66.2	63.2
	鉄鋼業	1	1	221	234	149	208	67.4	88.9
	非鉄金属	15	13	1,335	1,164	690	645	51.7	55.4
	金属製品	101	94	6,870	6,796	3,943	3,914	57.4	57.6
	一般機器	174	180	26,810	26,521	16,073	15,480	60.0	58.4
	電気機器	244	237	34,219	35,659	19,905	20,499	58.2	57.5
	輸送機械	68	65	9,307	8,403	5,481	5,055	58.9	60.2
	電気ガス	20	19	1,647	1,444	1,218	1,060	74.0	73.4
	他の製造	35	30	1,743	1,595	1,117	958	64.1	60.1
	小計	923	893	105,403	103,119	61,729	60,103	58.6	58.3
02 鉱業									
	土石採取	1	1	11	8	8	7	72.7	87.5
03 建設業									
	土木工事	16	17	1,326	1,346	927	942	69.9	70.0
	建築工事	32	30	2,746	2,705	1,674	1,590	61.0	58.8
	他の建設	19	17	1,370	1,165	880	758	64.2	65.1
	小計	67	64	5,442	5,216	3,481	3,290	64.0	63.1
04 運輸交通									
	鉄道等	22	20	1,522	1,258	615	516	40.4	41.0
	道路旅客	25	26	1,631	1,748	1,053	1,090	64.6	62.4
	道路貨物	87	82	6,065	5,570	3,458	3,060	57.0	54.9
	他の運輸	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
	小計	134	128	9,218	8,576	5,126	4,666	55.6	54.4
05 貨物取扱									
	陸上貨物	4	4	320	238	255	173	79.7	72.7
01～05 中計		1,129	1,090	120,394	117,157	70,599	68,239	58.6	58.2
06～17 農林業ほか									
中計		917	964	69,632	70,158	39,764	39,708	57.1	56.6
01～17 合計		2,046	2,054	190,026	187,315	110,363	107,947	58.1	57.6
全 国		116,717	119,402	12,480,197	12,918,763	7,301,931	7,580,352	58.5	58.7

(注) 「所見のあった者」は、労働安全衛生規則第44条及び第45条で規定する健康診断項目のいずれかが有所見であった者(他覚所見のみを除く。)の人数である。

第4表-1

令和3年 一般定期健康診断項目別有所見率(その1)

業種	健診実施 事業場数	受診者数	聴力(1,000Hz)		聴力(4,000Hz)		聴力(その他)		胸部X線検査		喀痰検査		血圧		貧血検査		
			実施者数	有所見率	実施者数	有所見率	実施者数	有所見率	実施者数	有所見率	実施者数	有所見率	実施者数	有所見率	実施者数	有所見率	
製造業	食品製造	127	11,969	11,164	5.1	11,164	7.8	1,090	0.5	10,695	4.9	112	0.0	11,960	18.6	11,007	11.1
	繊維工業	1	82	82	3.7	82	13.4	0	0.0	82	2.4	0	0.0	82	17.1	82	18.3
	衣服繊維	5	422	382	2.1	382	2.9	44	0.0	418	2.6	0	0.0	422	16.8	422	18.2
	木材木製	6	452	452	3.8	452	7.5	14	0.0	452	6.2	14	0.0	452	18.6	452	15.7
	家具装備	3	227	227	5.7	227	13.2	0	0.0	226	7.5	0	0.0	227	18.9	227	7.9
	パルプ等	8	733	732	2.5	732	6.8	156	0.0	728	4.1	0	0.0	733	14.5	632	4.9
	印刷製本	19	1,266	1,120	2.5	1,120	5.9	176	0.0	1,218	4.5	0	0.0	1,264	18.8	1,168	10.3
	化学工業	68	4,639	4,240	3.6	4,240	7.4	565	0.0	4,330	2.8	90	0.0	4,639	17.3	4,213	7.4
	窯業土石	17	1,513	1,465	2.6	1,465	8.6	527	0.8	1,462	2.0	48	2.1	1,513	21.6	1,509	6.6
	鉄鋼業	1	234	234	2.1	234	4.3	0	0.0	136	9.6	0	0.0	234	30.8	234	15.8
	非鉄金属	13	1,164	979	4.2	979	11.6	171	0.6	1,045	4.0	0	0.0	1,164	19.8	1,031	6.3
	金属製品	94	6,796	6,103	3.7	6,103	9.6	1,108	0.5	6,403	3.3	3	0.0	6,796	17.9	6,105	7.8
	一般機器	180	26,521	24,494	3.0	24,501	7.2	2,333	0.5	25,211	3.6	5	20.0	26,521	15.2	24,896	5.9
	電気機器	237	35,659	32,201	2.8	32,205	5.4	5,161	0.3	32,235	4.4	207	24.2	35,659	18.1	32,285	6.3
輸送機械	65	8,403	7,712	3.2	7,712	10.2	678	0.1	7,168	2.6	99	7.1	8,403	17.4	7,686	8.1	
電気ガス	19	1,444	1,401	2.1	1,391	7.8	126	1.6	1,401	6.9	12	8.3	1,444	16.8	1,418	21.8	
他の製造	30	1,595	1,445	4.6	1,445	9.5	208	0.0	1,386	4.0	49	6.1	1,595	19.1	1,404	9.0	
小計	893	103,119	94,433	3.3	94,434	7.1	12,357	0.4	94,596	4.0	639	9.9	103,108	17.4	94,771	7.5	
鉱業	1	8	8	12.5	8	25.0	0	0.0	8	0.0	0	0.0	8	37.5	8	12.5	
建設業	土木工事	17	1,346	1,273	6.0	1,273	18.1	77	0.0	1,297	9.5	0	0.0	1,346	25.4	1,308	7.3
	建築工事	30	2,705	2,624	3.1	2,624	11.2	236	1.3	2,697	5.0	321	0.0	2,705	18.4	2,633	5.2
	他の建設	17	1,165	1,126	4.7	1,085	10.7	195	2.6	1,115	6.2	49	16.3	1,165	18.8	1,163	6.8
	小計	64	5,216	5,023	4.2	4,982	12.9	508	1.6	5,109	6.4	370	2.2	5,216	20.3	5,104	6.1
運輸交通業	鉄道等	20	1,258	1,240	2.0	1,240	3.1	151	0.0	1,183	3.0	0	0.0	1,258	12.1	1,006	5.0
	道路旅客	26	1,748	1,586	7.4	1,617	18.1	135	0.0	1,325	9.7	0	0.0	1,748	25.3	1,535	8.5
	道路貨物	82	5,570	5,381	3.8	5,455	9.1	257	0.8	4,928	4.0	0	0.0	5,569	19.0	5,171	6.2
	他の運輸	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
小計	128	8,576	8,207	4.2	8,312	9.9	543	0.4	7,436	4.9	0	0.0	8,575	19.3	7,712	6.5	
陸上貨物	4	238	236	7.2	236	13.1	0	0.0	225	4.9	0	0.0	238	21.0	231	9.1	
その他の業種(林業含む)	農林業	7	360	358	5.9	358	10.3	27	0.0	357	3.9	0	0.0	360	17.5	359	6.1
	畜産水産	1	63	63	7.9	63	25.4	0	0.0	62	3.2	0	0.0	63	11.1	61	13.1
	商業	344	17,658	15,934	5.5	15,929	5.9	1,946	0.1	16,950	2.4	129	0.0	17,658	22.2	16,773	10.1
	金融広告	36	5,701	4,001	4.0	4,002	4.2	1,949	0.1	5,359	3.9	0	0.0	5,701	14.6	5,668	9.6
	映画演劇	1	10	10	0.0	10	10.0	0	0.0	10	0.0	0	0.0	10	20.0	10	20.0
	通信業	29	3,894	3,127	7.6	3,127	9.5	836	0.2	3,314	3.2	67	0.0	3,894	17.8	3,149	4.0
	教育研究	34	2,604	2,441	2.4	2,441	5.2	208	0.0	2,525	4.6	40	0.0	2,604	19.5	2,542	7.2
	保健衛生	238	20,649	16,297	3.8	16,296	5.2	2,779	0.3	17,727	4.3	153	4.6	20,643	12.6	18,611	8.7
	接客娯楽	106	4,657	4,192	4.2	4,192	8.4	459	0.4	4,315	6.2	58	0.0	4,657	19.9	3,958	8.1
	清掃と畜	42	2,165	2,142	6.4	2,142	13.4	77	5.2	2,095	7.8	1	0.0	2,165	27.3	2,117	8.9
	官公署	5	1,050	1,050	2.4	1,050	4.4	0	0.0	939	5.6	3	0.0	1,050	18.5	1,049	13.0
	他の事業	121	11,347	10,442	3.4	10,436	6.6	1,208	0.2	10,678	6.1	50	0.0	11,347	15.8	10,961	8.7
	小計	964	70,158	60,057	4.4	60,046	6.3	9,489	0.2	64,331	4.3	501	1.4	70,152	17.3	65,258	8.9
合計	2,054	187,315	167,964	3.8	168,018	7.2	22,897	0.3	171,705	4.2	1,510	5.2	187,297	17.5	173,084	7.9	

単位:受診者数・実施者数(人)、有所見率(%)

第4表-2

令和3年 一般定期健康診断項目別有所見率(その2)

業種	肝機能検査		血中脂質検査		血糖検査		尿検査(糖)		尿検査(蛋白)		心電図検査		有所見者		歯科検診		
	実施者数	有所見率	実施者数	有所見率	実施者数	有所見率	実施者数	有所見率	実施者数	有所見率	実施者数	有所見率	人数	有所見率	実施者数	有所見率	
製造業	食品製造	11,113	14.0	11,024	31.0	11,006	11.0	11,788	3.4	11,726	3.7	10,312	10.6	6,807	56.9	20	0.0
	繊維工業	82	13.4	82	25.6	82	8.5	82	1.2	82	0.0	82	13.4	50	61.0	0	0.0
	衣服繊維	422	11.8	422	32.5	422	9.2	416	3.1	416	4.8	388	8.8	258	61.1	0	0.0
	木材木製	452	19.0	452	33.0	452	13.1	451	2.9	451	3.3	452	8.4	289	63.9	0	0.0
	家具装備	227	12.3	227	39.2	227	8.8	225	2.7	225	8.4	227	10.6	160	70.5	0	0.0
	パルプ等	641	17.0	641	28.9	641	8.4	725	2.1	725	3.7	641	8.7	420	57.3	0	0.0
	印刷製本	1,168	16.6	1,168	34.2	1,168	13.4	1,231	2.5	1,231	3.2	1,155	9.8	765	60.4	0	0.0
	化学工業	4,258	16.3	4,259	28.4	4,259	9.9	4,624	2.6	4,635	2.7	4,188	8.1	2,579	55.6	92	0.0
	窯業土石	1,509	17.4	1,508	38.1	1,508	13.9	1,509	4.0	1,419	2.0	1,389	9.3	956	63.2	115	0.0
	鉄鋼業	234	35.0	234	53.8	234	28.6	234	2.1	234	1.7	234	9.4	208	88.9	0	0.0
	非鉄金属	1,031	15.8	1,031	29.8	1,031	10.9	1,152	3.4	1,152	1.7	995	8.9	645	55.4	27	0.0
	金属製品	6,328	16.4	6,327	31.5	6,301	9.6	6,688	2.9	6,686	3.0	6,006	7.6	3,914	57.6	383	11.5
	一般機器	25,052	17.5	24,928	33.5	24,955	8.8	26,293	2.7	26,320	2.5	24,402	7.7	15,480	58.4	219	1.8
	電気機器	32,593	16.5	32,592	30.8	32,592	10.7	35,311	3.2	35,288	2.4	31,615	7.9	20,499	57.5	2,272	12.7
輸送機械	7,827	17.8	7,825	31.0	7,824	11.0	8,338	2.6	8,273	2.5	7,289	8.5	5,055	60.2	175	0.0	
電気ガス	1,418	21.2	1,418	40.8	1,418	13.8	1,443	2.7	1,443	3.0	1,406	16.0	1,060	73.4	0	0.0	
他の製造	1,540	16.0	1,540	31.9	1,541	11.0	1,584	4.2	1,580	2.8	1,446	10.2	958	60.1	31	0.0	
小計	95,895	16.7	95,678	31.9	95,661	10.3	102,094	3.0	101,886	2.7	92,227	8.4	60,103	58.3	3,334	10.1	
鉱業	8	25.0	8	50.0	8	12.5	8	0.0	8	12.5	8	0.0	7	87.5	0	0.0	
建設業	土木工事	1,322	24.3	1,322	37.9	1,304	20.5	1,322	6.1	1,343	4.3	1,317	13.3	942	70.0	14	0.0
	建築工事	2,633	17.4	2,633	31.7	2,621	15.0	2,657	3.7	2,700	2.9	2,611	8.1	1,590	58.8	0	0.0
	他の建設	1,164	20.5	1,144	32.4	1,164	16.7	1,165	4.0	1,165	2.7	1,114	11.0	758	65.1	0	0.0
	小計	5,119	19.9	5,099	33.5	5,089	16.8	5,144	4.4	5,208	3.2	5,042	10.1	3,290	63.1	14	0.0
運輸交通業	鉄道等	1,007	14.2	1,007	27.1	1,007	13.0	1,254	3.2	1,258	2.6	977	6.6	516	41.0	0	0.0
	道路旅客	1,564	19.7	1,563	31.3	1,561	19.1	1,731	6.8	1,734	6.1	1,572	12.2	1,090	62.4	0	0.0
	道路貨物	5,321	14.6	5,321	28.4	5,151	11.6	5,565	4.3	5,564	3.7	5,247	8.8	3,060	54.9	0	0.0
	他の運輸	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
小計	7,892	15.6	7,891	28.8	7,719	13.3	8,550	4.6	8,556	4.0	7,796	9.2	4,666	54.4	0	0.0	
陸上貨物	231	18.6	231	37.2	231	18.2	238	5.0	238	4.2	227	7.5	173	72.7	0	0.0	
その他の業種(林業含む)	農林業	359	17.3	359	33.4	359	11.7	357	3.9	357	2.0	360	11.4	239	66.4	2	0.0
	畜産水産	61	13.1	61	29.5	61	14.8	63	9.5	63	4.8	40	10.0	44	69.8	0	0.0
	商業	16,852	11.4	16,852	30.4	16,840	11.9	17,467	3.9	17,453	2.6	15,964	7.5	10,308	58.4	1	0.0
	金融広告	5,668	10.4	5,668	31.2	5,668	9.2	5,650	1.6	5,650	1.5	4,662	12.1	3,035	53.2	0	0.0
	映画演劇	10	40.0	10	30.0	10	0.0	10	0.0	10	0.0	10	10.0	8	80.0	0	0.0
	通信業	3,149	19.4	3,149	36.6	3,149	10.4	3,886	3.0	3,886	5.0	3,121	12.4	2,261	58.1	0	0.0
	教育研究	2,546	19.6	2,546	35.5	2,546	14.2	2,590	2.4	2,588	1.9	2,363	9.9	1,666	64.0	42	40.5
	保健衛生	18,703	11.6	18,706	26.5	18,374	9.9	20,243	2.4	20,468	3.6	15,502	9.1	10,867	52.6	0	0.0
	接客娯楽	4,070	16.1	4,069	33.9	4,057	18.5	4,627	4.6	4,624	4.7	3,957	10.7	2,819	60.5	108	38.0
	清掃と畜	2,134	14.9	2,132	39.0	2,126	15.9	2,152	6.0	2,157	4.3	2,120	11.2	1,524	70.4	0	0.0
	官公署	1,050	12.5	1,050	31.8	1,050	12.5	1,043	3.2	1,043	2.0	945	8.5	613	58.4	0	0.0
	他の事業	11,002	16.5	11,007	28.0	10,991	11.7	11,350	3.5	11,342	3.2	10,538	7.9	6,324	55.7	14	0.0
	小計	65,604	13.4	65,609	30.0	65,231	11.6	69,438	3.2	69,641	3.2	59,582	9.1	39,708	56.6	167	34.7
合計	174,749	15.5	174,516	31.1	173,939	11.1	185,472	3.2	185,537	2.9	164,882	8.8	107,947	57.6	3,515	11.2	

単位:実施者数(人)、有所見率(%)

第5表

特殊健康診断実施状況の推移(過去30年間)

区分 年	実施事業場数	受診労働者数 (A) (人)	有所見者数 (B) (人)	有所見率 (B/A×100) (%)
平成4年	2,877	39,559	1,193	3.02
5	2,615	39,124	972	2.48
6	2,607	36,708	1,321	3.60
7	2,421	33,633	1,452	4.32
8	2,490	35,063	1,673	4.77
9	2,519	35,121	1,426	4.06
10	2,567	35,181	1,748	4.97
11	2,526	35,418	1,780	5.03
12	2,477	36,413	2,564	7.04
13	2,399	35,066	2,423	6.91
14	2,274	32,051	1,580	6.91
15	2,317	32,584	1,568	4.81
16	2,291	31,041	1,691	4.81
17	2,288	30,298	1,579	5.45
18	2,280	31,757	1,689	5.21
19	2,119	32,293	1,747	5.32
20	2,201	35,918	2,110	5.87
21	2,053	29,501	1,691	5.73
22	2,169	32,110	1,898	5.91
23	2,207	31,890	1,801	5.65
24	2,205	32,515	1,971	6.06
25	2,360	33,572	1,824	5.43
26	2,751	37,840	2,074	5.48
27	3,151	41,740	2,187	5.24
28	3,322	43,812	2,209	5.04
29	3,343	42,892	2,392	5.58
30	3,488	45,938	2,673	5.82
令和元年	3,494	45,280	2,628	5.80
2	3,469	46,924	2,767	5.90
3	3,716	47,748	2,709	5.67

(注)資料:特殊健康診断実施状況報告

第6表-1

特殊健康診断実施結果(令和3年)(その1)

1 法定の健康診断

対象作業	区分	実 事 業 場 数	受 勞 働 者 診 数 (A) (人)	有 所 見 者 数 (B) (人)	有 所 見 率 (B/A×100) (%)
有機溶剤		1,061	13,986	344	2.46
鉛		157	1,724	7	0.41
電離放射線		164	2,614	204	7.80
除染等電離放射線					
特	黄りんマツチ	1	1	0	0.00
	ビス(クロロメチル)エーテル	1	7	0	0.00
	塩素化ビフェニル	2	13	0	0.00
	ベリリウム				
	アクリルアミド	2	2	1	50.00
	アクリロニトリル				
	塩化ビニル	3	14	3	21.43
	塩素	15	134	3	2.24
	カドミウム	7	43	5	11.63
	クロム酸	68	544	6	1.10
定	クロロメチルメチルエーテル	1	2	0	0.00
	五酸化バナジウム	2	3	0	0.00
	コールタール	19	484	0	0.00
	シアン化カリウム	43	1,128	4	0.35
	シアン化水素	6	59	1	1.69
	シアン化ナトリウム	30	592	1	0.17
	3・3'ジクロロ4・4'ジアミノジフェニルメタン	6	29	8	27.59
	重クロム酸	4	31	0	0.00
	水銀	5	22	0	0.00
	トリレンジイソシアネート	4	44	1	2.27
化	ニッケルカルボニル	1	37	0	0.00
	ニトログリコール	1	19	1	5.26
	パラ-ジメチルアミノアソベンゼン				
	弗化水素	54	818	6	0.73
	ベンゼン	10	39	2	5.13
	マングネシウム	96	1,629	18	1.10
	沃化メチル				
	硫酸化水素	13	199	0	0.00
	硫酸ジメチル				
	ニッケル化合物	50	881	8	0.91
学	砒素	6	129	0	0.00
	酸化プロピレン	2	2	0	0.00
	1・1-ジメチルヒドラジン				
	インジウム化合物	9	31	0	0.00
	エチルベンゼン	415	3,321	43	1.29
	コバルト及びその無機化合物	105	1,749	9	0.51
	1・2-ジクロロプロパン	1	10	0	0.00
	クロロホルム	30	152	10	6.58
	四塩化炭素	3	19	0	0.00
	1・4-ジオキサ	7	38	0	0.00
物	1・2-ジクロロエタン	7	35	8	22.86
	ジクロロメタン	106	1,018	99	9.72
	スチレン	99	541	120	22.18
	1・1・2・2-テトラクロロエタン				
	テトラクロロエチレン	13	36	6	16.67
	トリクロロエチレン	71	292	35	11.99
	メチルイソブチルケトン	217	1,457	53	3.64
	ナフタレン	43	446	20	4.48
	リフラクトリーセラミックファイバー	24	531	11	2.07
	オルト-トルイジン	1	10	0	0.00
質	三酸化ニアンチモン	14	110	4	3.64
	溶接ヒューム	215	1,698	55	3.24
	小計	1,832	18,399	541	2.94
石綿	15	163	2	1.23	
高気圧作業					
合計		3,229	36,886	1,098	2.98

第6表-2

特殊健康診断実施結果(令和3年)(その2)

2 指導勧奨による健康診断

対象作業	区分	実 業 場 数	受 労 働 者 数 (A) (人)	有 所 見 者 数 (B) (人)	有 所 見 率 (A/B×100) (%)
紫 外 線 ・ 赤 外 線		111	1,518	25	1.65
騒 音		209	6,080	1,107	18.21
マンガン等(塩基性酸化マンガンに限る)		2	58	0	0.00
有 機 り ん 剤		1	46	0	0.00
亜 硫 酸 ガ ス		2	6	1	16.67
二 硫 化 炭 素(有機則適用以外のものに限る。)					
ベンゼンのニトロアミド化合物		1	4	1	25.00
砒 素 (特 化 則 適 用 以 外)		4	63	0	0.00
超 音 波 溶 着 機		5	30	2	6.67
メチレンジフェニルイソシアネート		3	40	0	0.00
フ ェ ザ ー ミ ル 等		1	17	1	5.88
都 市 ガ ス 配 管 工 事		1	18	10	55.56
チ ェ ー ソ ー		23	347	90	25.94
チ ェ ー ソ ー 以 外 の 振 動 工 具		20	336	71	21.13
重 量 物		11	417	91	21.82
引 金 付 工 具		6	130	6	4.62
V D T 作 業		49	1,307	181	13.85
レ ー ザ ー 機 器		38	445	25	5.62
合 計		487	10,862	1,611	14.83
1 法定の健康診断					
2 指導勧奨による健康診断	合 計	3,716	47,748	2,709	5.67

第7表

健康管理手帳(労働安全衛生法関係)新規交付状況(過去10年間)

	粉じん(管理2)	粉じん(管理3)	石綿	合 計
平成24年	9	1	19	29
平成25年	21	1	15	37
平成26年	1	0	29	30
平成27年	1	0	26	27
平成28年	9	0	25	34
平成29年	1	0	11	12
平成30年	1	0	10	11
平成31年・令和元年	5	1	10	16
令和2年	1	0	14	15
令和3年	0	1	13	14

労働安全衛生法関係の健康管理手帳は、「ベンジジン等(ベンジジン、ベータ-ナフチルアミン、ジアニジン)」、「じん肺(粉じん)」、「クロム酸等」、「三酸化砒素」、「コールドール」、「ビス(クロロメチル)エーテル」、「ベリリウム」、「ベンゾトリクロリド」、「塩化ビニル」、「石綿」、「1,2-ジクロロプロパン」の業務種類があるが、「じん肺(粉じん)」、「石綿」以外の業務種類に係る健康管理手帳について、過去10年間長野労働局において新規交付した実績は無い。

第8表

じん肺健康診断実施状況及びじん肺管理区分決定状況の推移(過去30年間)

区分 年	じん肺健康診断実施状況			管理区分決定状況				有所見者数 (B) ++	有所見率 (B/A×100) (%)
	粉じん作業を 有する 事業場数	粉じん作業 従事労働者数 (人)	じん肺健診 受診者数 (A) (人)	所見なし 管理1	有所見者(人)				
					管理2	管理3	管理4		
平成4	1,137	11,878	6,016	23	(20) 718	(25) 43	(6)	(51) 761	12.65
5	1,251	11,027	6,390	37	(35) 675	(29) 38	(4)	(68) 713	11.16
6	1,326	10,684	5,888	(5) 43	(45) 549	(10) 37	(12)	(67) 586	9.95
7	1,426	9,814	5,749	(1) 53	(26) 623	(32) 33	(7)	(65) 656	11.41
8	1,470	9,400	5,161	(3) 45	(23) 420	(23) 27	(4)	(50) 448	8.68
9	1,498	10,659	6,292	(2) 47	(35) 435	(45) 29	(17)	(97) 464	7.37
10	1,431	10,063	5,601	(6) 13	(44) 378	(23) 26	(8)	(75) 405	7.23
11	1,336	9,790	5,321	(2) 28	(47) 374	(20) 19	(3)	(70) 393	7.39
12	1,278	9,397	5,220	(7) 14	(72) 359	(33) 21	(7)	(112) 381	7.30
13	1,238	9,122	5,261	(3) 4	(25) 245	(24) 15	(7)	(56) 260	4.94
14	1,203	8,641	4,743	(13) 15	(59) 227	(23) 10	(4)	(86) 238	5.02
15	1,177	9,281	5,291	(9) 23	(58) 140	(16) 8	(3)	(77) 148	2.80
16	1,120	8,917	4,892	(15) 28	(42) 122	(12) 8	(6)	(60) 130	2.66
17	1,086	8,116	4,644	(26) 9	(49) 99	(14) 4	(4)	(67) 103	2.22
18	1,095	9,717	5,008	(15) 13	(45) 100	(11) 5	(8)	(64) 105	2.10
19	1,042	7,431	4,276	(12) 3	(75) 88	(11) 3	(4)	(90) 91	2.13
20	1,096	10,715	5,635	(9) 8	(35) 93	(2) 4	(4)	(41) 99	1.76
21	1,078	7,984	3,807	(11) 5	(48) 65	(11) 4	(3)	(62) 69	1.81
22	1,089	9,876	4,610	(6) 2	(30) 49	(9) 3	(3)	(42) 52	1.13
23	1,033	8,417	4,448	(6) 4	(29) 50	(11) 4	(4)	(44) 54	1.21
24	1,049	9,487	4,490	(2) 1	(22) 33	(10) 1	(4)	(36) 35	0.78
25	1,093	9,229	4,514	(4) 1	(20) 39	(6) 1	(1)	(27) 41	0.91
26	1,117	9,894	5,034	(6) 2	(19) 21	(8) 2	(1)	(28) 24	0.48
27	1,125	10,227	4,880	(9) 0	(16) 20	(6) 4	(3)	(25) 25	0.51
28	1,112	10,075	4,547	(4) 2	(14) 14	(6) 3	(4)	(24) 18	0.40
29	1,074	8,936	4,657	(4) 2	(14) 16	(9) 3	(3)	(26) 19	0.41
30	1,119	10,712	5,033	(7) 3	(6) 6	(1) 1	(2)	(9) 7	0.14
令和元	1,121	9,560	4,432	(4) 3	(10) 6	(6) 1	(1)	(17) 7	0.16
2	1,140	10,391	5,245	(0) 0	(11) 4	(6) 0	(0)	(17) 4	0.08
3	1,185	12,198	5,464	(3) 0	(8) 6	(5) 0	(0)	(13) 6	0.11

1.資料：「じん肺健康診断実施状況」は、「じん肺健康管理実施状況報告」による。

2.管理1は局に提出のあったもので、じん肺診査の結果管理1と決定したものの

第9表

じん肺(要治療)の労災補償状況の推移

業種 \ 年度	平成 24	25	26	27	28	29	30	令和 元	2	3
製造業	2	1	1	1	0	4	2	1	0	1
鉱業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設業	2	4	3	1	2	1	2	0	3	1
合計	4	5	4	2	2	5	4	1	3	2

- (注) 1. 資料出所：労災補償状況調査
 2. 本統計は、各年度にじん肺有所見者のうち管理2、3イ、3口の合併症及び管理4として業務上の認定を受けたもの。

第10表

振動障害の労災補償状況の推移

業種 \ 年度	平成 24	25	26	27	28	29	30	令和 元	2	3
製造業	2	0	1	0	1	0	0	0	0	1
鉱業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設業	0	3	2	6	0	0	2	1	6	2
農林水産業	2	0	1	1	1	3	0	0	0	0
合計	4	3	4	7	2	3	2	1	6	3

- (注) 1. 資料出所：労災補償状況調査
 2. 本統計は、各年度に振動障害として業務上の認定を受けたもの。

第11表

最近の自殺者数の推移

年	平成 24	25	26	27	28	29	30	令和 元	2	3
長野県	480	439	480	415	393	352	351	357	353	337
職業別 内数 被雇用者・勤め人	148	109	154	140	119	133	128	138	125	119
原因・動機別 内数 勤務問題	57	42	55	72	49	36	39	53	32	32

資料出所：警察庁生活安全局生活安全企画課

本統計は、自殺の発生地における計上であり、自殺者の居住地とは異なる。

第12表

脳・心臓疾患の労災補償状況の推移

年度	平成 24	25	26	27	28	29	30	令和 元	2	3
認定件数 (長野)										
脳・心臓疾患	2	0	3	5	3	3	3	5	2	2
うち死亡	2	0	2	2	1	1	1	2	1	1
請求件数(長野)	5	5	10	6	11	13	16	13	8	13
認定件数(全国)	338	306	277	251	260	253	238	216	194	172

注：認定件数は、労災補償となった件数で、当該年度に労災請求されたものとは限らない。

第13表

精神障害の労災補償状況の推移

年度	平成 24	25	26	27	28	29	30	令和 元	2	3
認定件数 (長野)										
精神障害	4	9	5	3	9	9	11	13	10	9
うち自殺(未遂含む)	2	3	1	2	2	4	1	4	1	3
請求件数(長野)	18	18	19	25	22	26	29	34	28	25
認定件数(全国)	475	436	497	472	498	506	465	509	608	629

注：認定件数は、労災補償となった件数で、当該年度に労災請求されたものとは限らない。

第14表

石綿関連疾患の労災補償状況の推移

年度	平成 24	25	26	27	28	29	30	令和 元	2	3
認定件数(長野)	12	8	9	5	8	15	12	17	7	7
うち肺がん	0	1	1	3	3	3	3	7	3	3
うち中皮腫	10	4	7	2	4	11	5	7	4	3

注：令和3年度は速報値

注：認定件数は、労災補償となった件数で、当該年度に労災請求されたものとは限らない。

注：石綿による健康被害の救済に関する法律に基づく特別遺族給付金を含む。

令和3年心理的な負担の程度を把握するための検査 (いわゆるストレスチェック)実施状況

区分 業種	検査実施 事業場数	検査を受けた労働者数(人)				面接指導を受けた労働者数(人)				集団分析の実施の有無	
		検査実施者			合計	指導実施者			合計	分析あり 事業場数	分析なし 事業場数
		専任産業医等	専属医師等	非専属医師等		専任産業医等	専属医師等	非専属医師等			
製造業	674	51,311	5,995	37,659	94,965	418	7	31	456	550	124
建設業	60	2,109	294	3,146	5,549	14	1	1	16	47	13
運輸・ 貨物取扱業	92	2,285	596	3,530	6,411	20	0	0	20	62	30
その他の 業種	888	37,045	10,898	22,680	70,623	219	20	60	299	799	89
合計	1,714	92,750	17,783	67,015	177,548	671	28	92	791	1,458	256
全国	112,911	7,314,202	1,126,663	4,536,662	12,977,527	48,978	2,673	7,101	58,752	97,188	15,723

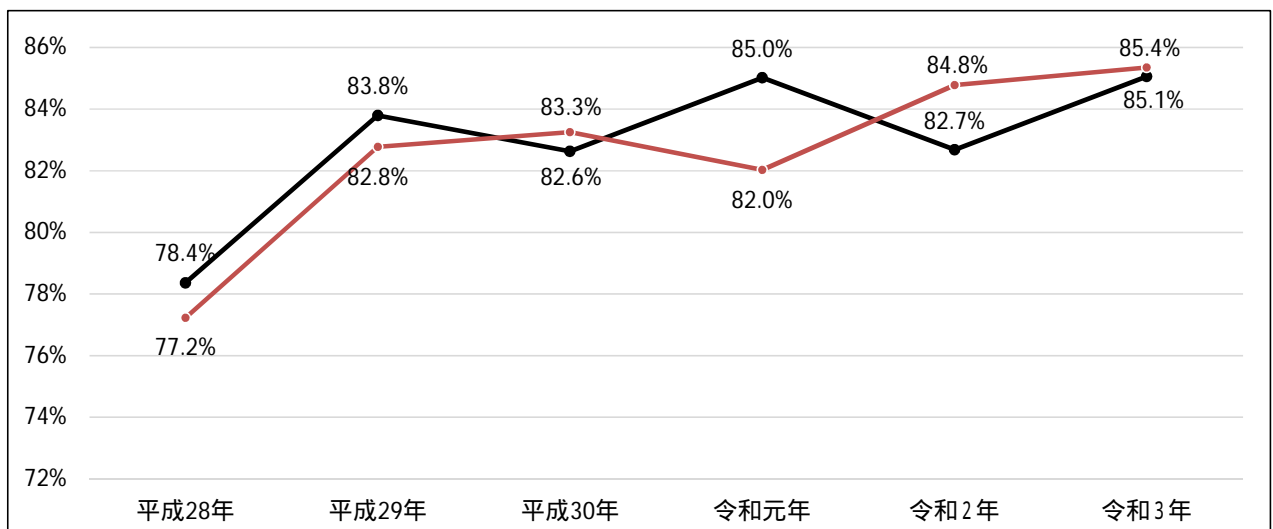
(注) 資料：心理的な負担の程度を把握するための検査結果実施状況報告。規模50人未満の事業場実施分も含む。

第16表・第3図

長野県におけるストレスチェック集団分析実施事業場割合の推移

		平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
検査実施事業場数	全体	2154	2178	2240	1963	2021	1714
	50人以上	1836	1736	1869	1942	1696	1502
集団分析あり事業場数	全体	1688	1825	1851	1669	1671	1458
	50人以上	1418	1437	1556	1593	1438	1282
集団分析実施事業場 割合 %	全体	78.4%	83.8%	82.6%	85.0%	82.7%	85.1%
	50人以上	77.2%	82.8%	83.3%	82.0%	84.8%	85.4%

(注)：資料：心理的な負担の程度を把握するための検査結果実施状況報告。それぞれ上欄は規模50人未満の事業場実施分も含み、下欄は規模50人以上の事業場の状況(事業場数は下欄は上欄の内数)。



第17表

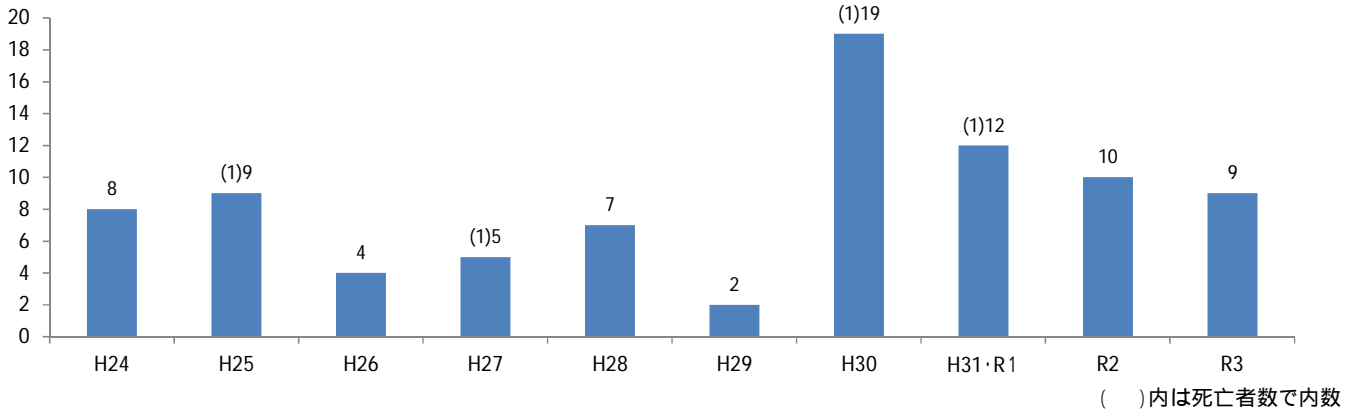
令和3年 工業中毒等特殊疾病事例

整理番号	発生月	業種	災害発生状況の概要
1	1月	非鉄金属製造業	工場内において、金型に付着したアルミニウムを除去するため、水酸化ナトリウム溶液の入った容器に金型を入れようとしたところ、手を滑らせて金型を当該容器内に落下させてしまい、当該容器内の水酸化ナトリウム溶液がはねて、被災者の顔面に付着した。なお、保護手袋、保護眼鏡は着用していた。
2	3月	食料品製造業	清掃時、次亜塩素酸ナトリウム溶液を保管用容器から小分けの容器に移し替える際、小分け容器を手から落とし、小分け容器が床に落下した際に内容物である次亜塩素酸ナトリウム溶液が被災者の右目付近にかかった。
3	4月	一般機械器具製造業 (派遣労働者)	溶液(1-プロモプロパン(含有率97%))を使用して製品の洗浄作業を行う際に、事業場の備え付けの手袋を使用せず、市販の手袋や素手で作業を行っていたところ、両手指に化学熱傷を負った。
4	7月	一般機械器具製造業	ゴム手袋を着用して部品の洗浄作業を行っていたところ、洗浄液(パラフィン系炭化水素(含有率95%))が作業服に染み込み、両手首が炎症となった。
5	7月	小売業	販売するパンの製造のため、厨房でガスオーブンを使用して作業中、設置されている換気扇(2台)のスイッチを入れ忘れ、一酸化炭素中毒となった。
6	7月	建築工事業	建物のトイレの洋式化工事において、エンジンカッターを用いて床面のコンクリートの切断を行っていた。窓は開放されていたが、風通しが悪い環境でエンジンカッターの内燃機関(ガソリンエンジン)の排気ガスに含まれていた一酸化炭素にばく露したため、一酸化炭素中毒となった。
7	9月	電気通信工事業	建物の改修工事中、別事業場の労働者がエンジン付き動力機械により床コンクリートはつり作業を行っていた。玄関及び一部窓を開放し、換気設備を稼働させていたものの、電気設備の配線確認作業を行っていた労働者2名が一酸化炭素中毒となった(1名は不休災害)。
8	10月	建築工事業	建屋解体工事において、エンジン付き高圧洗浄機を使用している作業場の付近で、断熱材のはつり作業を手作業で行っていたところ、一酸化炭素中毒となった。
9	10月	建設業	温泉用ポンプの保守管理の業務に従事した際、地中の泉源から発生した硫化水素、泉源付近に設置されていた温泉ポンプに付着した温泉から発生した硫化水素等により、硫化水素中毒となった。

休業4日未満を含む

第18表・第4図 長野県内における熱中症による労働災害発生状況

熱中症による労働災害発生状況の推移(休業4日以上、単位:人)



熱中症の業種別・年別発生状況(休業4日以上、単位:人)

業種	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31・R1	R2	R3	合計
製造業		2	1	(1)3	1			3	2	1	(1)13
建設業	5	(1)2	2		5		5		1	1	(1)21
道路貨物運送業				1	1	1	2			2	7
林業								1			1
商業	1	2					(1)2	1	1		(1)7
飲食店	1										1
ビルメンテナンス業	1							1	1		3
警備業		2				1	5	(1)1	1	1	(1)11
その他		1	1	1			5	5	4	4	21
合計	8	(1)9	4	(1)5	7	2	(1)19	(1)12	10	9	(4)85

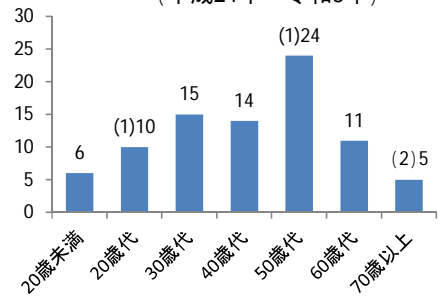
()内は死亡者数で内数

熱中症の被災者年代別発生状況(平成24年～令和3年)

被災者年代	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	合計
熱中症(人)	6	(1)10	15	14	(1)24	11	(2)5	(4)85

()内は死亡者数で内数

熱中症の被災者年代別発生状況(平成24年～令和3年)

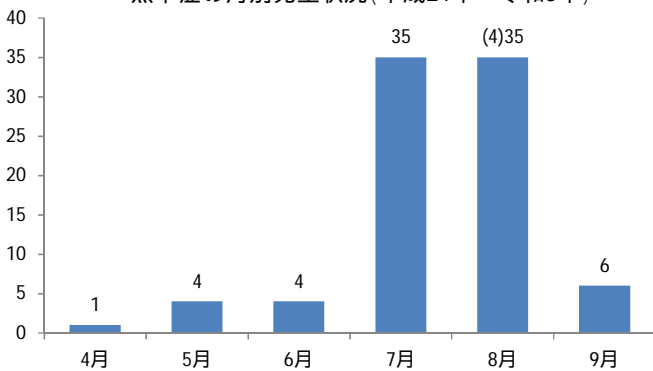


熱中症の月別発生状況(平成24年～令和3年)

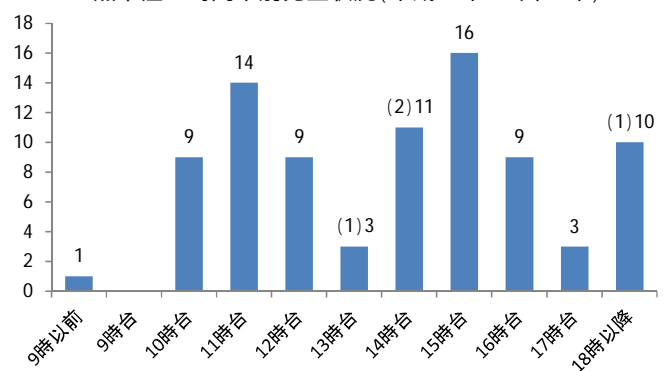
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
熱中症(人)	1	4	4	35	(4)35	6	(4)85

()内は死亡者数で内数

熱中症の月別発生状況(平成24年～令和3年)



熱中症の時間帯別発生状況(平成24年～令和3年)



熱中症の時間帯別発生状況(平成24年～令和3年)

時間帯	9時以前	9時台	10時台	11時台	12時台	13時台	14時台	15時台	16時台	17時台	18時以降	合計
熱中症(人)	1		9	14	9	(1)3	(2)11	16	9	3	(1)10	(4)85

()内は死亡者数で内数

データ出所: 各翌年4月の厚生労働省指定とりまとめ日までに提出のあった労働者死傷病報告を長野労働局労働基準部健康安全課が集計・分析したもの

熱中症による死亡災害事例

発生年・業種	発生状況の概要
平成25年 建設業	墓地のリフォーム作業中(玉砂利部分を石貼りに変更する工事)、石貼り作業に従事していた被災者が石柵(高さ52cm)にもたれ込んでいたのを工事担当者が発見し、消防署へ通報し、病院へ搬送されたが死亡したものの。
平成27年 製造業	食品残渣等廃棄物から有機肥料を製造する事業場において、廃棄物が入ったフレコンバックを車両積載形トラッククレーンの荷台から下ろす作業を行っていた被災者が意識を失い倒れた。
平成30年 商業	真夏の屋外で露店を営業するため、午前中から調理器具の準備や仕込等の作業を行い、また、同所において、夕方からの営業で接客等の作業を行い熱中症を発症した。
令和元年 警備業	道路上で交通誘導業務を行っていたところ、熱中症を発症した。

熱中症による死亡災害事例(参考:長野県内への出張中の労働者にかかるもの)

発生年・業種	発生状況の概要
令和3年 商業	屋根に設置された太陽光パネルの点検清掃作業等を行っていたところ、倒れているところを発見され、病院へ搬送されたが死亡したものの。

熱中症による主な休業災害事例(平成24年～令和3年)

業種	発生状況の概要
製造業	エアコンが稼働している工場内において、電気配線の組立作業を行っていたが、室温が30度ほどになり、午後3時ころから頭痛、吐き気の症状が発生し、終業後も体調が戻らないため、病院を受診した。
製造業	製造ラインで部品を取り付ける作業を屈んで行っていたところ、座り込み、そのまま倒れた。意識を失い、けいれんが発生していたため救急車で搬送された。
製造業	製造ライン(めっき槽)のメンテナンス作業中、合羽、マスクを装着し作業を行っていたところ、手指の痙攣が発生し、病院を受診した。
建設業	個人住宅の現場において、基礎周りを70cm程度手掘りで掘削していたところ、めまいや吐き気が出て、仕事が出来なくなった。
建設業	建築工事現場において、型枠組み立て作業に従事し、休憩の際、水分を摂取しようとしたが嘔吐し、手足のしびれが発生し、その後、全身の痙攣が始まったため、救急車で病院へ搬送された。
建設業	住宅基礎工事現場において、コンクリート圧送作業に従事していたところ、手足のしびれとめまいのため、動けなくなり、救急車で病院へ搬送された。
道路貨物運送業	構内で仕分け作業中、体調が悪くなり、休憩をとっていたが、立ち上がることができなくなり、救急車で病院へ搬送された。
道路貨物運送業	客先構内で集荷業務を行っていた際、全身が痙攣し、動けなくなったため、救急車で病院へ搬送された。
林業	草刈作業中に、草を集める作業を行っていたところ、具合が悪くなり座り込んだ。その後入院となった。
商業	店舗の倉庫備品置き場で、入荷商品の分別作業中に急にめまいがして椅子に座りこんだが、その後意識を失って救急車で病院に搬送された。
飲食店	調理場で魚の調理作業中に室内が高温となり、身体の不調を訴えたので乗用車内でエアコンをかけて休憩をとったが、嘔吐し脱水症状となった。
ビルメンテナンス業	トイレの清掃作業中に気分が悪くなり、休憩をとりながら作業を続けて退社したが、自宅に帰った後も回復しなかったため、病院を受診した。
保健衛生業 (派遣業)	派遣先の病院にて勤務中、浴室で患者の入浴介助中、患者の腕を支えようとした際、足に力が入らなくなり、座り込んでしまった。応急処置をしたが、改善がないため、救急車で病院に搬送された。
公園・遊園地	炎天下でグラウンドの散水作業中、長時間の作業後、頭痛を訴え、嘔吐した。
警備業	警備業務中、他の従業員から様子がおかしいとの連絡が入り、本人へ連絡したところ、呂律が回らず、休憩を取らせたが、回復がなかったため、救急車で病院に搬送された。
警備業	交通誘導業務を行っていたところ、頭痛を発症し、我慢して業務を継続し、帰宅後、頭痛が悪化し、嘔吐と下痢を発症し、動けなくなったため、病院を受診した。